

6月議会

ありた 議会だより

2015 No.35 平成27年7月31日発行



▲ 7月4日 七夕席書会で先生の指導を受ける子ども達



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

有田町では2016年に有田焼創業400年を迎えます。

400年事業成功にむけ9人が関連質問

平成27年度 一般会計予算89億1,100万円に 2p
1億2,100万円を補正

町政 ここが知りたい
一般質問 12人が町政を問う 7p～18p

400年事業と連携して
『まちのオフィス・春陽堂』開設 19p

6月の定例議会

平成27年6月議会は6月9日から19日まで11日間の会期で開催されました。

平成27年度 一般会計予算89億1,100万円に 1億2,100万円を補正

主な事業として、ふるさと納税事業に8,078万円、定住促進事業に850万円などを補正した。

(単位：万円)

主 な 事 業	内 容	金 額
ふるさと納税推進事業	ふるさと納税事業システム導入 商品開発業務委託料等	8,078
定 住 促 進 事 業	定住促進奨励金	850
老人福祉センター事業	ちとせ指定管理料	153
積 載 車 整 備 事 業	小型動力ポンプ購入費	204
有田小学校改築事業費	移転候補地調査測量委託料	624
有田中学校施設管理事業	施設修繕費 施設委託料	294 5
中央運動公園施設管理事業	トイレ洋式化工事	43

特別会計・企業会計補正

○特別会計	国民健康保険特別会計	予算組替えにより、歳入・歳出の増減なし
	介護保険特別会計	620千円 (総務管理費、介護認定審査会費)
○企業会計	公共下水道事業	2,000千円 (収益勘定)
	農業集落排水事業	104千円 (収益勘定)
		△500千円 (資本勘定)
	水道事業	1,253千円 (収益勘定)
		3,000千円 (資本勘定)

平成27年度 第5回定例会における議案の審議結果

廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部改正案を否決

議案順位	提 出 議 案	審議の結果
1	専決処分 平成26年度一般会計補正予算(第10号)の承認について	承 認
2	専決処分 税条例等一部を改正する条例の承認について	承 認
3	専決処分 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	承 認
4	専決処分 平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の承認について	承 認
5～8	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意全員
9	平成26年度公共下水道事業会計決算認定について	認 定
10	平成26年度農業集落排水事業会計決算認定について	認 定
11	平成26年度浄化槽整備推進事業会計決算認定について	認 定
12	平成26年度水道事業会計決算認定について	認 定
13	佐賀県市町総合事務組合規約の変更について	賛成全員
14	ふるさと応援基金条例及び有田焼創業400年事業基金条例の一部改正について	賛成全員
15	介護保険条例の一部改正について	賛成全員
16	廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部改正について (注) 否決した経緯は、別掲する産業建設常任委員会の審議経過をご参照下さい。	否決全員
17～19	町道路線の変更認定について	賛成全員
20	平成27年度一般会計補正予算(第1号)について	賛成全員
21	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
22	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
23	平成27年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員
24	平成27年度農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員
25	平成27年度水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員
26	空き家等適正管理条例の一部改正について	審議未了 廃案

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は別掲する委員会報告をご覧ください。

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 久保田 均
副委員長 古賀 四郎

▼有田町廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部改正

立部委員 廃棄物処理手数料が約3倍になっているのは何故か。

環境課副課長 来年1月から、ごみ処理を伊万里市に搬入するための運搬経費を、経産省と厚労省単価から算出し、半額を自己負担としている。

立部委員 飛灰の運送料を組合から貰えないか。

環境課副課長 飛灰は永久的に運搬できない。

古賀委員 今まで軽トラック100kg500円が10kg150円だと、100kg1500円で3倍になる。特に旧有田町は燃やす事が出来ない。住民に迷惑はかけられない。

環境課長 新施設では10kg80円で直接搬入できる。個人分はプラザで預かり

まとめて運搬することができる。しかし1日3往復しか搬入できないので、多いときは積みきれない時もある。大量の時は直接、新施設へ搬入をお願いする。

（採決の結果） 全員否決

▼町道路線の変更認定

金武委員 中樽橋梁の撤去の理由と費用は。

建設課長 老朽化で町の費用となる。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成27年度有田町一般会計補正予算（第1号）

古賀委員 カラス駆除の成果は。

農林課長 猟友会にお願いした。一斉駆除により一時的に民家近くに来てい

ると思われる。人家周辺は駆除ができない。一時辛抱してほしい。

立部委員 林道機械購入とは何の機械か。

農林課長 グラップルローダー付フォワーダー車

（玉切木材を不整地で運搬する車両）である。

浦川委員 農地賃貸の仲立ち事業はどうする。

農林課長 農地中間管理事業で国が行っているが町では実績がない。

古賀委員 ろくろ座入り口の急勾配の改良は。

商工観光課長 検討する。

浦川委員 観光事業費の施設修繕費とは。

商工観光課長 泉山の公衆トイレの浄化槽の蓋や配管の取替えと東出張所前の石灯籠の電気の配線の修理である。

金武委員 400年事業名誉会長は県知事だったが現在は。

町長 新県知事が引継ぎをされると思われる。

金武委員 最終の基本計画の11プロジェクトがいまは3つしかない。それ以外は。

400年推進課長 その他にまちづくりのフェスティバルの4つ。

金武委員 有田焼マイスター、陶芸作品展、記念イヤー催事拡充委員会が基本計画にない。

400年推進課長 400年関連事業は行政の各課でやっている。マイスター制度は商工観光課、農産物は農林課になる。

金武委員 博覧会委員会は主催するのが。

町長 事務局としては主催事業を主にやり関連事業は各関連課、マイスター制度は工業組合等関係団体へお願いする。

金武委員 個別事業について、事業計画4委員会の中に議会関係が入っていない。

400年推進課長 最初は関係する会議所、観光協会等から進め、今後は委員長と協議しながらやっていく。

金武委員 血踊り隊について触れられていない。

町長 魅力展、400年事業をPRするためにやりたいが銀座の歩行者天国は許可をだしていないとの事。

三越での踊り披露も会場の都合で多数では無理なのでマスコミを使った方法を有田の著名人の方々と行えばと思っている。

金武委員 やきもの大博覧会をまちづくり公社に委託する。丸投げではないか。

町長 公社は将来の町づくり、まちの魅力、交流人口をふやす事を目的としており、伝統工芸士、陶芸協会、窯元、商社等みんなが継続していけるもので将来発展できる。

金武委員 佐賀の段階チャレンジの経緯と説明を。

まちづくり課長 地域の維持活性化で住民自ら考え実行する。モノの整備を伴わない取り組みで、単なるイベント開催は認められない。応募者は婦人会、青年団、NPO、まちづくり団体、市町等。

久保田委員長 尾の上・下迎原線の国道接続の進捗状況。

町長 国道事務所と警察で安全面を考慮して協議中。

（採決の結果） 賛成全員

本会議において産業建設常任委員会に付託された他の案件は賛成全員でした。

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関するることについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 蒲原多三男
副委員長 松尾 佳昭

活かす勉強をする。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町介護保険条例の一部を改正する条例

今泉委員 保険料は9段階に分けられているが、第1段階の方は年額3672円安くなる。2から9段階はどうか。

健康福祉課長 第2段階以上の方は変わらない。減収分は国庫、県と町の一般会計から介護保険への繰出しになる。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

今泉委員 マイナンバー制度が導入(今年10月通知、来年1月実施)されると医療費や薬の過剰投与、はしご診療等は避けられるか。

健康福祉課長 メリットはあると思う。具体的に

▼平成27年度有田町介護保険特別会計補正予算(第1号)

今泉委員 認定審査会共同負担金の45万円は。また認定審査会の構成は。

健康福祉課長 事務局は伊万里市・有田町で設置している。その負担金だ。構成人数と合議体は後日、報告する。(委員会後に書面報告あり)

今泉委員 民間の介護施設は県が年に一度の監査をしているが、適正な介護サービスが実施されるためにも第三者委員会を設置し、定期的な監査も必要では。

蒲原委員長 全国的に介護サービスの不正認定の報道もされた。第三者を入れた公正性が必要では。

健康福祉課長 認定審査会には県の保健師のOBが数人入っている。県が事

業所指定をしている社会福祉法人等の監査に町は関わりがない。

総務課長 介護保険制度を維持していくために必要なこと。県のチェックリストも参考にし、今後、事業所の指導強化をしていきたい。

今泉委員 以前、国が保育士の賃金上乗せの補助金を出したが、反映されなかった。今回の介護に携わる職員の賃金が、施設料金に賦課されているが賃金に上乗せされていない。だから監査体制をつくるべきでは。

梶原委員 介護施設の職員や保育士の処遇改善の報告はされているのか。

総務課長 介護制度に必要なことなので前向きに考える。

健康福祉課長 介護施設の処遇改善は年に一度、事業所ごとに実績報告書を提出させ、確認して助成金を出している。

住民課長 各保育園からの実績報告書に保育士の一時金の領収書を添付させ

て確認している。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町一般会計補正予算(第1号)

福島委員 地域子ども子育て支援事業の説明を。

住民課長 国の事業名が「保育緊急確保事業」から「地域子ども子育て支援事業」に変わったが、事業内容は同じで時間的変更もない。

梶原委員 認定こども園の1278万円の減額は。

住民課長 保育緊急確保事業については、ルンビニ保育園が4月から認定こども園になったので、びっかぶー保育園への補助がなくなり減額だ。

蒲原委員長 緊急通報システムの利用者は、1〜2カ月に一度の支払い持参と聞いたが、高齢の方が多いと思う。口座振替は。

健康福祉課長 検討する。

今泉委員 廃園となつたやまだに保育園、おあぎ保育園の今後の活用は。

財政課長 どう進めるべきか、協議している。地域

の方に有効利用してなるべく費用負担がかからないよう配慮したい。

松尾委員 文化体育館のアスベストはどこか。また体育館改修の調査費の現況は。

生涯学習課長 文化体育館北側の倉庫の煙突にアスベストがある。以前の調査でそこまでは見てなかった。改修の調査委託の期限は7月31日まで。まずどれくらいの金額がかかるかを調査し、早めに議会へ提出したい。

今泉委員 有田小学校の改築へ向けての進捗は。その経費軽減策は。

教育長 木材と工事の分離発注を行い、町有林の伐採のお願いや県産品の使用で補助金が付くことで財源の確保に努める。

学校教育課長 実施設計も概算である。協議していく。

(採決の結果) 賛成全員

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 松永 俊和
副委員長 原田 一宏

▼有田町ふるさと応援基金
条礼及び有田焼創業400年
祭基金条例の一部改正

松永委員長 条例に「町長
が必要と認める事業」と
いう文言を入れないと不
都合があるのか。

総務課長 現在「有田町ふ
るさと応援寄付条例」が
ある。

使途には①未来を担う有
田の人づくりに関する事
業②食と器に関する事業
③有田の原風景の保存と
活用に関する事業④地域
医療と福祉の充実に関す
る事業⑤住民の融和と連
携に関する事業⑥有田焼
創業400年事業の6項目で
使途が定めてあった。

今回、インターネット
に「ふるさと納税」を掲
載するに当たり、多額の
寄付が予想される。これ
ら6項目以外の事業に使
用する場合に「町長が必
要と認める事業」の文言
をいれた。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町一般会
計補正予算(第1号)

藤委員 町債を4000万

円減額修正しているが、
今後の町債比率抑制と推
移は。

財政課長 合併特例債を基
本に借入をしている。今
年も2億5000万円を
予定している。償還の据
え置き期間も終わり、返
還になるので増えてくる
可能性がある。特例債を
満額使用する考えはない。

町長 合併特例債は有田町
財政にとって非常に恵ま
れている。特例債に関す
る事業が平成32年まであ
る、関連事業がある間は
大きくなる。

藤委員 税収の収納率推移
と滞納要因は。
税務課長 今年度5月末で
各税目とも収納率は改善
している。滞納要因とし
て国保税では経営不振に
よるものばかりではなく、
若年層の会社退職後によ
る国保加入や年金収入だ
けの高齢者の加入が増え
たことなども要因と思わ
れる。

町長 退職者は翌年の収入

が落ちても、国保税は前
年度収入で課税される。
国民年金収入は少なく負
担が大きい。国全体の問
題になっている。貧困問
題が滞納の1番の原因で
ある。税徴収は町職員の
義務だが、対応に苦慮し
ている。

池田委員 庁舎の熱効率
が悪いと聞く。改修計画
があるのか。

町長 庁舎の各階に扉を付
け、熱効率を上げた。今
後の発生に備え補正をし
た。

手塚委員 空き家特措法に
ついて町の対処と申請は
区長が行うのか。

総務課長 区長の要望で協
議する。この条項に合
えば、「特定空き家」に
認定し手続きに入る。

松尾委員 ふるさと納税事
業に職員は係るのか。ま
た委託料で500万円強
だが年間毎年7〜8%必
要か。

総務課長 8000万強計
上している。その内40
0万が委託料で初期投資
や発送と商品への責任を
負うことになる。寄付金
の約4割〜5割が返金し
て手数料が10%位必要だ。
商工会議所と相談してい
る。

藤委員 サテライトオフィ
スに地域おこし協力隊を
活用し内山地区の活性化
を図るとしているが、以
前から同じような事業を
行ってきた。町の仕事、
住民のする仕事、町・住
民が共同でする仕事を精
査して抜本的な解決策を。

町長 「内山に暮らす会」と
いう民間組織もスタート
し方向性が見えてきた。
まちづくり、人づくり、
安心、安全も含め何をす
べきか出先機関を置き対
応する。

まちづくり課長 春陽堂を
将来的に町で買い取る構
想は一切ない。

池田委員 中山間地の活用
対策で、野菜・花作りや
高齢者の生きがいづく
りりと荒廃地抑制、地域
コミュニティの場として、
まちづくりの一環で貸農
園づくりができないか。

町長 耕作放棄地リストは
ある。高齢者対策でぜひ
対応したい。今期で形を
作りたい。

松永委員長 サテライトオ
フィス事業の常設に向け、
改修後の異人館へ移設を
検討できないか。

文化財課長 異人館は明治
9年建設当時の姿に戻す。
今よりコンパクトになる。

当時、ガス・水道の設備
はなく、町並み情報セン
ターとして活用するには
付帯設備費や活用方法な
ど含め検討したい。

原田委員 定住促進奨励金
の補正と現況の説明を。
まちづくり課長 今までの
経過は左記のとおりだ。
当初予算1900万円が
現時点で終了した。

平成21年	31件	2 3 7 0 万円
平成22年	44件	3 5 6 0 万円
平成23年	56件	4 7 5 0 万円
平成24年	26件	1 9 9 0 万円
平成25年	38件	2 9 0 0 万円
平成26年	36件	2 3 4 0 万円

▲これまでの定住促進奨励金交付実績

近年、コンパクトな家
を若い世代が建てる傾向
が顕著にみられる。消費
税の影響で去年同様か、
それ以上の募集があると
思い補正をお願いした。
(採決の結果) 全員賛成

中部小と統合した有田小学校を

答 答申にもとづき考えていない



池田 榮次 議員

有田消防庁舎の改築

合併特例債での改築

議員 旧有田地区消防本部庁舎は、伊万里市との広域化で伊万里・有田消防組合の資産だが、築

歴44年で傷みがひどい。合併特例債を使えば町の負担は軽い、有田町単独で改築が可能か。

総務課長 伊万里市との協議は必要だが、単独での改築は可能である。**財政課長** 有田町は合併特例債を使う。

有田小学校の改築

内山地区の近未来像

議員 「地域の再生には校となる小学校が欠かせない」と執行部は言うが、現に有田小がある。ではなぜ今の内山の現状か。

空き家も多く、多額の費用で岩盤を削って公共下水道を敷設しても接続家庭は極めて少ない。住民

流出は続くのに、

よそから喜んで移り住む人があるだろうか。内山の近未来像を聞きたい。

町長 時代の変遷と共に学童が減り、赤坂卸団地に商店が移って賑わいが

衰退したのも事実。400年を節目に、まちづくりをどうするの。

地域で発足した「内山に暮らす会」や、佐賀銀行を始め県内全金融機関のご支援で組織されたまちづくり公社のご協力もお願いできる。

綿々と伝わる有田内山の歴史的・伝統的建造物を活かした「町ごと博物館」や焼き物を主体にした伝統工芸の「まちかど美術館」で、日本の伝統工芸や建造物をお見せできればと思っている。

町も組織の一部を現地に置き、実態を見据えた町並み再生に精一杯の努力を傾注したい。



▲内山の国選定重要伝統的建造物群（現在 157棟）

改築に必要な総工費

議員 有田小の改築には15億円ほどは必要だと推測するが。**学校教育課長** 基本設計を終えたばかりで、総工費は把握できていない。

中部小学校との統合

議員 有田小の在校生は120人ほど。近い将来に80人規模と聞く。執行部はそれでも240人規模で設計している。

中部小の生徒も減って

空き家対策

中古住宅の改修補助と空き家バンク

きている。両校を統合して「有田小学校」とし、中樽までスクールバスを走らせてはどうか。

教育長 地域の活性化と子どもの生活場所に学校が必要だと答申にもとづき、中部小との統合は考えていない。

しらかわ保育園はどうする

議員 しらかわ保育園は定員60人に対して園児は13人。園舎も古い。有田小との併設や「公立保育所は旧町に一か所」とする

答申に基づいた決断を示すべき時期ではないか。

有田小の跡地に高齢者の集合住宅を造れば内山の再生も促進できる。多面的な検討も必要だ。

町長 保育園には小学校と違い、「園区」という通園規制がない。今後の保育行政で一定の方向性を見定めたい。集合住宅のご提案は有難く受け止めていただく。

まず制度の周知に努めその過程で中古住宅の改修補助が必要であれば改めて検討したい。

他市町は空き家バンクを創設して、空き家の賃貸・売買も促がしている。まちづくり課長 町にも

「空き家情報提供制度」空き家バンクを創設している。空き家バンク制度と同じだ。地域創生先行型の臨時交付金で空き家の流通促進事業を開始する。登録された空き家が売却・賃貸された場合、登録者と購入者に助成する。

まず制度の周知に努めその過程で中古住宅の改修補助が必要であれば改めて検討したい。

ウォーキングコースの設置は

答 11月22日に「歩き愛(め)です」を実施したい



浦川 友喜 議員

400年事業と観光行政

第113回 陶器市

議員 今年の陶器市期間中、町外出店者に話を聞いた。要望が多かったのが店舗の借用料金で、売上が減少した現在、出店しやすいように会議所や家主さんに相談して頂きたいとのことだったが、どのように思うか。

町長 店舗の借用料については、かねて相談はあったが、貸店舗が個人の所有なので、家主さんに良心的なお願いをするしかない。

議員 2番目に出店料の件。町内業者は2万3千円で、町外業者は3万8千円である。もう少し安くできないかとのこと。

商工観光課長 反省会でも話題になり、陶器市を運営する経費が必要なので、ご理解下さいとのことだった。

トンバイ堀通り

議員 今年初めてカフェの休憩所を実施されたが、どうだったか。

商工観光課長 400年事業の拡充イベントとして『CAFE DE ART』を8店舗で実施。お客様へのサービスを向上させることで、陶器市の魅力アップに繋がり、有田焼の紋様を入れた紙コップが好評だった。

議員 トンバイ堀通りへの入り口のサインの充実を図ってはどうか。また、トンバイの説明板の設置をしてはどうか。

商工観光課長 地域全体のサインの見直しをし、トンバイの説明板については、設置場所と内容を検討する。

石畳道路の整備

議員 石畳道路の状態は景観的にも良くない。公共下水道敷設時に強い石に改善するように検討してはどうか。

建設課長 内山地区の景



▲「有田町」サインのない武雄方面出入口

観に配慮しながら、上下水道課と協議検討する。

議員 地域住民の要望等聞いて改善してほしい。

町出入口のサイン

議員 武雄方面と佐世保方面の町出入口には観光地として一番必要な『有田町』を表す看板もない。看板の設置は。

商工観光課長 観光振興を進めていく上で、お客様に分かりやすい誘導サ

インは重要なので、お客様目線で、どこにどのようなものを設置するか検討する。

400年モノユメント

議員 モニユメント制作を400年実行委員会と協議したのか。

400年推進課長 プロジェクト委員会と検討する。

議員 400年事業にふさわしい、現在の技術を結集した焼き物のモノユメントを期待している。アイデアを公募してはどうか。

町長 今なにが必要なのか、400年事業に必要なものがあれば検討する。

天狗谷窯跡整備

議員 今後の整備計画と町内の古窯跡数は。

文化財課長 400年の象徴的な窯跡として、今年度から検討委員会を設立し専門家と活用を協議する。古窯数は66カ所である。

遊歩道の開発

議員 泉山防災広場から

旧相撲場への遊歩道について検討したのか。

商工観光課長 多額の整備費と維持管理費もかかるので、今後関係機関と協議していく。

議員 この4～5年、秋の陶磁器まつりでは観光客も増加している。磁石場、大いちょう一帯を通年観光地にしていくにも、400年事業の中で、検討してはどうか。

東西ウォーキングコース

歩き愛(め)ですを実施

議員 東西ウォーキングコースを検討したのか。

商工観光課長 11月22日『歩き愛(め)です』を実施したい。この事業は歩数計を着用、町内を散策するイベントなので、提案頂いたコースも参考にしたい。

町長 健康づくりや地域の良さを発掘する目的もあり、今回は『歩き愛(め)です』と言う事業を通して、全国に発信していく。

有小改築 学ばせたい学校に

答 いろんな方面から協議する



古賀 四郎 議員

有
小
改
築

議員 6月4日の住民説明会には、約130名の

住民が出席されたように地域にとっては重大な問題である。今後のスケジュールはどうなっているのか。

教育長 本日基本設計をお示しできたので、皆様方や専門家の意見等聞きながら慎重に進めていきたいと思う。

議員 改築された場合、地区の防災拠点や避難場所となるのか。

学校教育課長 川の水位にもよるが避難場所として活用できる。

議員 歴史の面、地域性についての活用方法は。まちづくり課長 地域住民との交流や歴史の共有により地域の特色が出せるのではないか。

議員 資料室の活用についてはどうか。

教育長 一〇〇周年記念館を整理し、歴史的価値

があればネット上で発信することも考えられる。

議員 業室室については。

学校教育課長 有田特有のものであり、どこにもない施設である。有田焼の魅力を学び、体験してもらいたい。また、町民も利用できるようにしたい。

議員 いろんな面で活用できる学校となり得るが、特色ある学校運営をすべきだ。その一つとして小規模特認校制度（児童・

保護者が学校を選べる制度）もあり他校との差別化を図るべき。学校校庭の芝生化（利点として生徒が外で遊ぶようになる、フールビズ、冬は寒さの

緩衝、水たまりがない等）を考えてみてはどうか。

学校教育課長 長所、短所がありいろんな人の意見を参考にしたい。

議員 また生きた英語授業等特色ある科目を取り入れることで、他地区から家族ぐるみで移住される場合も想定されるので

はないか。今の内山地区の空き家問題、交流人口の増加にも繋がるのではないか。

まちづくり課長 改築できれば促進につながる。

議員 今後の予定と町長の所感は。

学校教育課長 7月に地質調査や測量調査等を行い、以降、町有林の調査、

国に対し補助申請、実施設計等準備が必要になる。

議員 実施設計まで行けば確定するのか。

教育長 その都度、協議いただき、実施設計を認めていただければ先へ進み平成28年頃に工事開始となる見込み。

町長 費用・事業案は議会と協議する。有小の重要性は認識している。将来、語学や芸術の基礎となる学問は小さい頃から要だ。子供達が誇りを持

てる学校、地域の人が集える学校。そのためにも特色ある教育が必要だと思っている。

議員 旧校舎跡を活用し

た高齢者施設の整備や内山地区の駐車場の整備等をどう考えるのか。

学校教育課長 未定。町全体を見ながら他の課とも協議しながら進めることになるだろう。

石場と世界遺産

議員 世界遺産登録と日本遺産登録の動きは。

商工観光課長 以前はあったが現在は無い。

議員 まず日本遺産登録を目指しては。

商工観光課長 調べる。

400年事業後

議員 400年事業後は業室界をてこ入れしない限り有田町の発展はない。商人の復活（営業力）の再構築こそが生きる道ではないか。行政・組合・業者で何とか道筋を見つけないとこのまま浮上できない。

地区行政

議員 総区長のなり手が厳しい状態だ。業務や報酬面で検討の余地は。

総務課長 ボランティア精神に負うところが大きい、地区単位や区長会で協議する。

県内一斉のふるさと美化活動

議員 6月の美化運動は河川の清掃ではないのか。

環境課長 区内での美化運動なので空き缶収集や草取りなどでも構わない。

町長 現状は厳しくなるばかり、400年事業を浮上の契機にして欲しい。生活文化、食文化等各方面と焼き物との共存を図り、販売力強化を目指す体制づくりを行いたい。



原田 一宏 議員

「がんばる事業者応援モデル事業」審査基準は

答 必要性・公平性・新規性の総合判断である

地場産業の再生支援

議員 地場産業の再生支援を目的とした「がんばる事業者応援モデル事業」の平成25・26年度の採択事業と補助金額は。

商工観光課長 25年度は9件・496万1千円で、26年度は9件・951万8千円である。ともに陶磁器関係である。

議員 27年度（27年3月募集分）の審査結果と事業内容は。

商工観光課長 申請8件で、2件採択（農業1件・陶磁器関係1件）である。

議員 昨年まで行われていた第三者を入れた審査委員会やヒアリングも行

われなかったようだが、審査基準は。

商工観光課長 その事業の必要性・公平性・新規性を見て、総合的に判断した。

議員 ヒアリングやプレゼンを行って、事業内容のアドバイスや補助減額等の指摘があつても良かったのではないか。

商工観光課長 今回は、これまで審査に携わってきた職員の経験を活かして、町職員で審査した。

議員 未だ低迷している窯業界への後押しが必要で、落すための審査ではない。審査基準を明確にし、業界をうまく支援するための補助金事業であるべきだ。

議員 昨年まで行われていた第三者を入れた審査委員会やヒアリングも行



がんばる事業者応援モデル事業

事業目的…本補助金は、窯業や農業等の地場産業に携わる中小企業者等が行う新商品の開発や販路開拓等の取り組みに要する経費の一部を町が補助することによって、地場産業の再生を図ることを目的とする。

400年事業

▽「やる気モリモリ支援事業」

議員 過去の事業検証と今年度の状況は。

400年推進課長 平成24年から26年度で29事業を採択している。事業ごとに特徴を出して、成果が上がっていると感じている。

今年度は、上半期2件の申請があるようだ。

議員 この事業にも複数回採択されているものがある。誘客や事業参加人数の拡大に寄与しているが、どうなるか。

400年推進課長 集客をより高めるための策を講じ努力しているので、事業者の意思を組んで、続けていきたい。

ていきたい。

▽「有田の魅力展」

議員 窯元・商社による企画商品展の進捗状況は。

400年推進課長 窯元・商社の共同企画として、工業組合の協力で、大中小

のスクエア皿の出品と、お手塩皿・コーヒー碗皿も検討している。

議員 ボランティアによる血踊りの応募状況は。

400年推進課長 5月末日一次締め切りで83人である。今後も随時募集する予定である。

議員 東京での血踊りの実施予定と状況は。

400年推進課長 日本橋仲通り室町商店街の地下道など予定している。また、絵付け体験などの組み合わせも検討している。

議員 町長が先陣を切って、トップセールスをし、魅力展予定3会場にアピールすべきでは。

町長 マスコミにPRしメディアに情報発信していく。行政や警察に問い合わせをしながら、慎重に進めていく。

▽「子どものための企画」

議員 キッズ検定が企画されているが、町内だけではなく、もっと門戸を広げるべきと思うが。

400年推進課長 まずは町内の子どもたちに郷土に対する誇りと愛着をもってもらうために開催する。今後については、子どものための委員会で協議してもらおう。

ふるさと納税

議員 3月議会後、新聞や雑誌等でも特典や納税状況が取り上げられている。ふるさと納税に対する特典のHP掲載状況はどうなっているか。

総務課長 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を利用するように進めている。人気の牛肉については、佐賀まで視察に行き、作業を進めている。

議員 地域振興のためにも、ペースを上げ、他市町に負けない充実したものを作り上げてほしい。

有田小学校建設への住民の意見・提案は

答 実施設計までに協議検討する



松永 俊和 議員

有小基本設計を受け

議員 去る6月4日に有田小学校新築の基本設計の説明があった。「地域コミュニティの核」として活用や「少子化対策」「活性化対策」などの町

長の方針を伝えて欲しかったが、基本設計の説明で終わった。平成24年

あと10年後まで生徒数は100人を切らないと報告されたが、今日現在で

0歳から5歳児の対象数が80人と聞く。生徒数の見込みと複式学級になる可能性は。

教育長 複式学級は当分考えられない状況。今回の基本設計は1クラス40人（1

年は35人で）収容可能な設計だ。推定で4年後（平成31年）には100人を切る

見込みだが単式学級は維持できる。

議員 一昨年の推測より5年ほど早く1

00人を切るようだがどのように考えるのか。

教育長 町の施策で若者が定住し、子どもたちが

増えれば今後、今の体制を維持できると思う。

議員 今回の説明会はまだ基本設計の段階で、住民の意見や要望はこれから

寄せていただき、実施設計に取り入れて行きたいと説明された。「いつ

まで」「どの様に」提案すればよいのか。

教育長 スケジュールや提案については建設検討委員会とも協議して行く。



▲基本設計で示された有田小学校イメージ図

400年で連携とPRは

議員 有田町単独では規模やアイデアなど限られる。同じ窯業圏の伊万里

市、武雄市、嬉野市や佐賀県との連携・共同企画の予定など、協議ができ

ているのか。

400年推進課長 武雄市職員と観光や武雄図書館を

活用して、焼き物を通じてワークショップができないか検討を始めている。

武雄宇宙科学館も子どもを対象にしたテーマで企画できないかオフアーム

来ている。伊万里市とは未だできていない。佐賀

市のバルーンフェスタでのイベントやPRなども計画している。嬉野市とは「お茶と器」のテーマ

企画をこれから検討していきたい。

町長 4月から400年の事業内容の確定を急いでいる。まず私たちが何を

するのか確定して、次に近隣へ協力をお願いする。

議員 400年事業まで「時間はまだある」と言われるが、皇室への依頼や各

団体や首長への招聘などできたのか、いつまでに

できるのか。相手の都合もあるのではないのか。

町長 事業内容が確定できれば、すぐに県を通して皇室や各団体をお願い

する。

議員 以前から県は、県庁の前に大きな看板を設置して400年事業のPRを行

っている。有田町では住民の期待や意識が低い。

庁舎の懸垂幕や西地区でのPR看板などが無い。

これでは盛り上がりにつける。また、町の400年事業

に向けた気概が感じられない。対処すべきだ。

町長 事業内容が確定していない。内山にはあるが、看板に何十万も掛ける必要はないと思う。

議員 内容がまだでも町民とお客様へ400年事業の意識づけが大事だ。

まちづくり会議で

議員 5月から、まちづくり会議が小学校区別に開催されている。役場職員もフールド・カフェで

「若い人たちが住みたくなる町へ」をテーマに意見を交換した。これら会議の中で「若者が少ない」

「高齢化が進んでいる」「若者の職場が無い」などが多く聞かれた。打開策で「仕事・生活」を住み分ける「ベッド・タウン」的まちづくりの声があ

がった。

町では医療補助や子育て支援、また空き家対策として改修費の補助、若者の定住と地域コミュニティ維持、若者の流失対策の検討をしては。

町長 新築には補助があるが空き家の改修には業者が整備して貸し出す仕組みがある。交流人口の増加や住み良い町を目指したい。



松尾 佳昭 議員

『日本遺産』登録に取り組みを

答 積極的に取り組み地域の誇りを醸成していきたいいきたい

地方創生

議員 いま地方創生という追い風が有田に吹いている。まさに、400年前に「時の利」である。

だが財源は既存の補助金削減など想定されており、当町ではどう考えているのか。

まちづくり課長 仕組みとして危惧されているのは知っている。各地域の取り組みを自ら行っているところに沿える財源措置として捉えている。総合戦略をどのように盛り上げていくのか。財源措置を総合戦略に振り替えていくのか、考えている。

400年事業 広報宣伝

議員 400年事業の広報宣伝が十分とは思えない。ぜひ全国的にも大々な広報が必要ではないか。

400年推進課長 関係機関と協議しながらすすめて

いる。今後は、こちらから仕掛けていく必要がある。PR会社に委託したり、雑誌記者を招聘し記事にもらうなど検討している。

400年事業 お土産開発

議員 2016年は佐賀市でもバルーン競技の国際大会がある。共に宣伝すれば効果が期待できる。有田商工会議所と組んで400年事業にちなんだお土産開発を提案する。400円、1616円、2016円のお土産をつくる。食品、有田焼など様々なことが

考えられるが。

町長 ふるさと納税のこともふくめ地域特産品づくり、具体的商品開発を行っている。400年記念はいいことであり一緒に取り組んでいきたい。

議員 現在想定されている子供の思い出として残る企画は。

400年推進課長 有田キッズ検定、子ども達による血踊り、焼き物の展示会などがある。

議員 血踊りは有田つ子なら昔は誰でも踊れた。是非そういう環境を整えてほしいが。

教育長 子どもが関わると場がなごみ活気がでる。

色々な場面をつくりたい。各校の先生方にも協力を要請した。子どものための委員会で聴いていく。

400年事業 子供の企画

議員 現在、高校生のウインドウディスプレイコンテストがある。小・中学生のコンテストを実施できないか。

文化財課長 小中学生の希望者にはグループで取り組みのいいのでは。

実際に子ども達が見るのも必要ではないか。

議員 子どもサミットを実施してほしいが。

町長 大きな目標として、子ども達に目標・夢をはぐくむ機会にしていきたい。有田を知り、誇りに思い、そして夢・志を持つてほしい。サミットなど子ども達どう関わっていくのか教育委員会と話ししたい。

議員 子供の郷土愛をはぐくむ企画として『日本

遺産』登録に向けて取り組むことはできないか。

文化財課長 日本遺産には、物語性、国の指定文化財が必要だ。有田にはそれがあ。文化庁の歴史文化基本構想の策定等が必要条件だが未だ取り

組めていない。人的不足であるが、関係各課と取り組んでいきたい。

教育長 文化財課が人員不足している現状は理解している。オール有田として取組むことが大事な時期である。

議員 日本遺産にあと不足しているのは人的力だけである。町長のご英断を期待するが。

町長 自分たちの遺産をどう活用するのが重要。日本遺産など積極的に取り組みながら地域の誇りを醸成していきたい。

その他の質問
◇400年事業について

▼サテライトオフィス
▼ふるさと納税



▲有田陶器市にお目見えしたバルーンを模した有田焼製ワインキャップ

町道の除草管理は

答 状況確認し検討する



立部 正則 議員

町道の管理について

議員 これからの季節は雑草が繁茂するが、町道の除草管理の状況と範囲。またその費用は。

建設課長 建設業、法人、地元地区の団体等に業務委託をしている。管理範囲としては、山間部の路肩及び法面の除草管理を年1回お願いしている。

住宅地区については、6月上旬の県下一斉美化活動のボランティア活動で住環境の整備をして頂いている。町道沿線に農地があるところでは、農家の方に年5、6回の路肩、法面の除草管理をして頂いている。この作業により町道管理の経費が軽減されている。費用については、26年度で4200万円程度の支出だ。

議員 除草作業については、地区の公役や農業者の負担になっている。草刈り作業は、非常に重労働である。特に、傾斜地

等は滑り易く危険性が高い。また、どの地区でも

高齢化が進んでおり、この作業ができてにくい状況にある。この作業の軽減にセンチピートグラスの植生を検討できないか。

建設課長 センチピートグラスのテスト状況を確認した。長期植生が続けば冬場1回の草刈りの管理で良いということに負担減になる。また、農家の作業軽減にもなる。管理が地元になるため、初期管理に熟知していただき順調に生育できれば実施したい。あと1年経過観察したい。

議員 法面の除草管理を軽減できれば、農作業の作業軽減につながるのだから農林課ともタイアップして推進して頂きたい。

農林課長 現在、苗の植え付けと種子の吹き付けの2通りで進められているが、最初の管理でかなりの労務費がかかる。確実に雑草の繁茂を抑制できるならば水田管理の労

力削減につながるのだから過措置を確認したい。

議員 昨年、集落営農組織の新規立ち上げを推進されたがどの程度たちあがったか。

農林課長 6組織が立ち上げ予定。他は検討中。

議員 新組織への指導はどのように進める予定か。

農林課長 今まで通り普及センターと町でタイアップし研修会を進めたい。

議員 従来あった組織との連携をどのように進めるか。

農林課長 田植え以降に第1回の勉強会を行いたい。その後連絡協議会に参加をお願いし研修に努めたい。

議員 集落営農組織と町の特産品づくりをどのように連携させるか。

農林課長 特産品づくりについては、農産物開発協議会にて協議のため、今後集落営農組織の協力をお願いするかもしれない。

町施設のトイレについて

議員 町民いこいの広場のトイレは洋式トイレがなく、また流れないという苦情を聞いた。どのようになっているか。

健康福祉課長 大便器については、男性トイレに和式が1基、女子トイレに洋式が1基、和式が1基、別に多目的トイレが1基ある。また簡易水洗のため流れが悪いようだ。

議員 町施設の水洗化率は、どのくらいか。

健康福祉課長 水洗化率は61%である。

議員 水洗化の計画は。健康福祉課長 各関係課で利用頻度を確認し検討していく必要がある。

議員 洋式化率は。

健康福祉課長 65%位だ。

議員 洋式化については県のユニバーサルデザイン事業があると思うが計画されているか。

健康福祉課長 26年度までに8施設15件実施して

いる。今年度も計画している。

町施設の使用について

議員 婦人の家の調理施設が一部のしか使用できないと聞いたが、使用規則はどうなっているのか。

生涯学習課長 町の施設で誰でも使用できる。申請された時に、使用予定が入ったためにお断りしたと思う。対応が悪かったと思うので今後指導していく。

議員 町の体育館の使用時間の延長ができないか。生涯学習課長 延長希望がどの位あるのかを確認し、多ければ周囲にも確認して検討する。



福島 日人士 議員

認知症の医療・介護について

答 県でも県内に4ヶ所の認知症疾患センターの設置

介護保険制度

議員 第5期介護給付費（平成24年～26年）の実績は。また、要支援1、2の予防給付の利用状況は。

健康福祉課長 介護給付と予防給付を合計した全体の給付額は、平成24年度17億4700万円（6922人）、25年度18億4200万円（延7130人）、26年度17億9800万円（延7062人）、平成26年度値は見込み人数、毎年増加している。

認知症施策の推進

議員 厚生労働省研究班が5月29日に発表した認知症・介護で社会全体が負担している費用は2014年度の時点で約14兆5000億円、医療費1兆9000億円と介護費6兆4000億円、家族負担6兆2000億円、

患者の診療報酬、明細書のデータなどから計算、介護保険制度が始まり15年、今も介護は家族の負担に依存、有田町の認知症高齢者の対策は。

健康福祉課長 有田町の認知症キャラバンメイトは、26年度末で32人、今年度は認知症サポーター養成講座を開催し、現在、認知症サポーターは577人いる。認知症の相談には、地域包括支援センターや介護支援専門員、在宅介護支援センター、保健師など個別に対応している。県内4カ所の認知症疾患センターの設置している。

介護予防

議員 26年度の実績で特定健診、ガン健診で4600万円。財源としては、国・県の負担、本人の負担が、1700万円程度で行なっている。介護予防施策は。

健康福祉課長 介護認定の原因疾患の内、全体の3割は生活習慣病・高血圧・糖尿病・動脈硬化などで、2割は筋肉・骨格系の疾患である。若い時からの体力作りや、生活習慣の改善が大切で、老人会・ボランティア・シルバー人材センター・農作業・趣味の会等に積極的に参加する事が介護予防につながる。

有田町農業プロジェクト事業

議員 佐賀6次産業サポートセンターが6月で一周年を迎えた。商品開発では人参ドレッシング、米粉ロールケーキ、ぶどうジャムなど開発し、販路開拓を行っている。有田町の進捗状況と対策は。

農林課長 先日4回目の協議会を開催した。農業部会で進めていた、菜種油・戸矢かぶ等は継続し、ハウスコンカンの加工・子持ち高菜・葉ワサビ等

有田の風土に適した野菜、果樹の調理法、加工の方法について、協議会、農家、普及センター、直売所の発想も受け入れ検討して行きたい。

桜ヶ丘公園環境

議員 公園内が、見渡せる様に、ツツジ、桜等の剪定をし、防犯の面においても安全、安心、運動広場としての環境作りをお願いしたいが。

建設課長 公園の維持管理はライオンズクラブに年3回業務委託している。ツツジの剪定は、6月にシルバー人材センターに委託した。

有田焼400年事業

議員 少子高齢化に伴いスポーツ人口が年々減少している。ソフトボール協会でも職域、地区クラブチーム等10チーム以上

減少し、2月の県内一周駅伝大会等もチーム編成が難しい状況である。有田焼400年事業の一貫としてスポーツの推進をして若い世代の後継者育成をしてはどうか。オリンピックに町から一人でも出場できるように町の対策は。

生涯学習課長 400年事業で「ヤル気もりもり事業」がある。町内に活動拠点を置く団体が応募でき、各種スポーツの記念大会に該当するので申請していただきたい。

町長 個人・団体のスポーツ、そして指導者、施設、整備等の条件が必要、社会体育として、子供達の育成は、民間の方、警察、学校の先生達にも協力していただいている。地域との連携により選手を輩出することは、非常に大切なことである。

副町長の選任は？

答「副町長兼課長としている」妥当でない



手塚 英樹 議員

まちづくりオフィス・春陽堂

議員 オフィスの開設時間・土日・規模は。

まちづくり課長 開設時間は9時から16時・当面は平日。人員は、まちづくり課から2人。9月から地域おこし協力隊も配置する。

議員 オフィスの今後の展望は。

まちづくり課長 地域づくりの拠点として40年以後の活動に繋がって行くものを目指す。事業の内容は移住定住交流のポータルサイトの運営、地域の資源の情報発信や内山まちづくり会議の事務局としての役割・ヘリテイジマネージャーによる空き家の相談窓口。期間は3年間を予定している。

議員 3年後の姿は。

まちづくり課長 オフィスIIまちづくり課ではなくなる。地域住民や地域づくり協力隊の運営による情報交流の場や、

400年事業

4月に発足した銚まちづくり公社と連携して内山の魅力発信ができる拠点となることを目指す。

議員 移住定住交流の情報発信は。

まちづくり課長 移住定住・空き家流通促進事業のための現地調査を年度末まで行う予定だが、調査が出来た所から、随時、情報を発信していく。

議員 「魅力展」のワークショップ「染付有田皿山職人尽し絵図大皿」の再現とは。

400年推進課長 工房の再現。□□・下絵付け・上絵付け・焼成と窯元の職人の作業を見せる。

議員 東京での魅力展今年9月以降の計画は。

400年推進課長 首都圏からの話は来ている。今後各地区に進める。

議員 日本磁器発祥400年の節目ともいえる今回の

記念式典に他磁器産地の招待は。

400年推進課長 具体的な産地は決まっていらないが、招待する予定である。

議員 事業計画にある記念碑の製作は。

400年推進課長 350年祭などを参考に検討する。

議員 「やきもの文化の大博覧会」が「有田まちなかフェスティバル」と変更になったが「有田サローネ」は。

400年推進課長 「有田サローネ」も「有田まちなかフェスティバル」にトけこませたい。

議員 「有田サローネ」は海外の産地・陶芸家も多く来るとの事だったが、海外との取組は。

400年推進課長 県事業メゾン・エ・オブジエ、ミラノサローネなどに係わっている窯業関係者と検討して進めたい。

議員 関連事業で天狗谷窯跡整備に三重津海軍所跡で使用している、VRスコープ（映像と音声で

の説明）などを取り入れる事を委員会で検討は。

文化財課長 バーチャル名護屋城ではタブレット・スマホで城の再現映像が好評である。有田も時代に合った残し方もあるので検討したい。



▲三重津海軍跡で使用しているVRスコープ

副町長選任

議員 昨年の9月議会で副町長を置かない条例が可決された。条例では「当分の間おかない」となっている。今の考えは。

町長 組織図では町長は副町長とのパイプしかない。

い。私は組織図を逆三角形としており町民が主役で町長は一番下にいる。全てを知らないと思慮決定ができない。副町長兼課長としている。それぞれの分野で課長はプロである。機構改革しても副町長は妥当でない。

議員 町長の1年間の出張報告では、町外出張77回内県外12回東京出張1回である。遠方への出張が少ないのは副町長不在で多忙のためでは。

町長 必要な時は出張している。電話でもできる。役場の代表として課長は出席している。

議員 9月の議会議事録にも残っているが、議員の質問で「当分の間」とは年度末の3月31日かか問いに、町長は「町政の体制と機構改革のめどをつける平成27年3月まで」と期限を示した。期限付きということで副町長を置かない条例に賛成した議員もいることは認識しておいてほしい。



金武 康男 議員

有小は地域との交流・連携・地域活動の拠点 有田小学校をコミュニティスクールに

答 「地域とともにある学校」の観点から、検討を進めたい

小中学・教育の基本

議員 有田町小中学の学力の現況をどのように認識しているか。

教育長 佐賀県のレベルと同程度であるが、学校間で差がある点は問題。

議員 27年度版「有田町の教育」は教育の基本方針を示すもの。町民や保護者にどう伝えたいのか。

教育長 35部を印刷し、保護者・役員には写しを60部程配布した。

議員 「有田町の教育」は具体的実施計画に乏しい。「教育委員会・点検評価報告書」とは。

教育長 教育委員会の自己評価と外部評価を行い、公表して次年度に生かすものである。

議員 法律で、議会報告

が義務となっている。

教育行政の基本をおろそかにしてきたのでは。

教育長 来年度からは、議会にも報告する。

全国学力テスト

議員 昨年の学力テストの結果は次の通り。

平成26年度 全国学力テスト成績

	1 位	2 位	3 位	全国平均	佐賀県
小学6年 (国語+算数)	秋田 74.0	福井 70.9	石川 70.7	66.2	27位 63.8
中学3年 (国語+数学)	福井 70.0	秋田 69.7	富山 68.0	64.4	44位 61.8

学力テストの目的と有田町小中学の成績は。

教育長 目的の第一は学習指導の改善に役立てることである。小学6年は

算数・国語ともに佐賀県平均程度で、中学3年は数学・国語ともに5%程度平均を下回っている。

議員 学力は家庭環境と学習の習慣が重要。特に小3までに宿題を自ら行う習慣がつかないと学力を付けるのが難しい。

佐賀県は今まで一度も全国平均に達したことがないとして、危機感を持っている。町としての対策は。

教育長 特に県の指導はないが、「継続と徹底」に取組むように、通達があった。

こども学習塾

議員 学力テストが好成績だった嬉野市役所と嬉野小を視察・研修した。低学年から学習の習慣づ

けをするため「こども学習塾」の制度がある。嬉野全小中学校で実施されており、児童のほぼ半数600人程度参加している。公募による講師28人で児童の宿題の手助けが行われている。

受講料は公費でまかなわれて無料、放課後児童教室と違うのは、真剣に宿題に取組み、済んだ子供から帰宅することである。

共働き等家庭環境で、学習の習慣づけが困難である有田町でもぜひ進めて頂きたい。

教育長 学習の習慣をつけさせる意味で参考になる。町長・教育委員会・学校現場から意見を聞いて検討する。

コミュニティスクール

議員 子供の教育は学力が全てではない。そこで、総合的な学習やミニテ

ィスクール(CS)が必要。CSは地域運営学校と呼ばれ、住民代表や保護者等が学校運営の基本方針を承認したり、教員人事まで意見を述べることでできる組織である。嬉野市では佐賀県でいち早く、嬉野中学をCSとし、現在では市内12の全小中学校をCSに指定し成果を上げている。

CSの第一の目的は、学校を町づくりの拠点として地域の活性化を図ることにある。現在改築を進めている有小の最重要コンセプトは「地域との交流・連携・地域活動の拠点」である。CSは教育委員会の意思ひとつで実現できる。有小をCSに指定すべきである。

教育長 有小は「地域とともにある学校」との観点からも検討したい。

副町長を置かないことは有田町にとってプラスか？ マイナスか？

答 プラスと思う



今泉 藤一郎 議員

貧困の連鎖解消のための子どもの貧困対策法には

議員 経済指標を3年ごとに調査公表し、目標達成を図り、学習機会に関する指標は毎年公開するところがあるが、町は把握・対応しているのか。

学校教育課長 県の教育事務所から指標調査は来るが、報告はしても全国的な率を求めるのは国がしており、町では把握をしていない。

議員 全国統計では5、6人に1人存在する。貧困から生じる事例は、進学できない。満足に食事摂取ができない。毎日、風呂に入れない。小遣いを持たない。友達と遊ぶ事ができない。教材を買い換える事ができない等の事があるようだが。

教育長 貧困によって友達と付き合いができないとか、いじめがあつてはいけない、全ての子どもが平等で教育の機会は均

等でないといけない。

議員 国が法で規定するもので、解消に向け町としても学校、家庭と連携を図り取り組むべきである。

町長 行政として学校、先生方ともしっかりやっていきたい。

議員 子どもは良い意味で、いろんな可能性を秘めていて伸ばしてあげるのも教育と考えるが。

教育長 第一歩は教員が踏み出す事で、家庭・地域と連携し子ども達も育つていくように相乗効果を図って行き、日々の授業・指導を大事にしていく。

議員 国語力、国語に特化した特色のある学校教育ができないか。

教育長 全ての教科の基本で、各教科において国語力を活かす言語教育を推進し磨いて行く取り組みが必要である。

西公民館の改築は

議員 10年前の合併協議会の協議内容を充分精査したのか。協議会では西公民館は新築する計画だったが、何故、有田共立病院跡の検査棟の2階と3階を改修して、公民館として利用する予定・計画になったのか。



▲西公民館

生涯学習課長 昭和39年に建築され49年が経過している。平成22年10月に有田町有施設有効活用審議会へ共立病院跡の有効活用について諮問され答

申された。

町長 旧共立病院の検査棟を公民館として有効活用すると審議会で決まっていると聞いている。

議員 西地区の方々が集まる場所であり、各種団体・グループの活動の拠点である。地域の活性化を熟慮した時に機能を充分備えた公民館の建設が必要不可欠だ。区長会を初めとし、各種団体・グループ等への説明をして、納得をされたのか。

生涯学習課長 今は計画の段階であり、説明は行っていない。

議員 まだ、充分に町長の考え直しもあり得る事なので、あえて答弁は求めない。

副町長の選任

議員 副町長の選任に関して町民から直接、意見要望は何件程あつたか。

町長 要望に関しては伺っていない。

議員 人口減少と超高齢社会の到来と言う大きな流れの中で、多種多様な行政需要が増大し、40年事業など課題に迅速な対応が必要である。組織そのものと事業推進の為に副町長は必要と考える。そこで、副町長を選任しない事は有田町、町民にとってプラスになる事か。私はマイナスと考えるが。

町長 プラスになると思う。

議員 全国の殆どが正副町長体制で取り組んでいる。何時までに選任同意の案件を提出すると明言して欲しいが。

町長 組織運営のあり方の基本は今の時代にあつた組織運営を掲げて行っている。組織はルールであり遂行上問題等が発生すれば即座に選任する。

議員 町長の業務は粛々と遂行されているが、それ以上の事ができるので再考慮をお願いする。

佐賀大学との共同による
“まちづくり”と、施設整備を！

答 町としてできることは応援したい



梶原 貞則 議員

議員 2016年4月か

ら窯業大学が、佐賀大学の芸術地域デザイン学部となる予定だ。佐賀大学は総合大学として、教育学部・農学部・理工学部・経済学部・医学部もある。佐賀大学との連携で“まちづくり”を進めることは町の活性化に大変寄与することであると思う。そのためには大学関

係者や学生が滞在できる施設等の整備をお願いしたい。

町長 学長は「この地域の魅力、窯業施設や芸術、美術館等、有効に活用しながら素晴らしい人材育成をしていきたい。」と話されたので、町としてできることは側面から応援をしていきたい。



▲来年4月から佐賀大学となる予定の窯業大学

陶器市のお客様サービスの
為にも下水道整備
接続率のアップを

議員

今年の陶器市の来場者は、121万人と昨年を若干下回ったとのこと。来年の有田焼創業400年の記念陶器市には、今までよりも多くのお客様に来ていただきたいと思う。そのためには、お客様にいろんな面で満足していただかなければならない。その中でも、綺麗なトイレは必要である。今年、東庁舎には、公共下水道に繋がった水洗式の綺麗な仮設トイレが設置しており、大変好評だ。今後、こつこつ綺麗な仮設トイレを設置できるような環境施設整備をしてはどうか。

上下水道課長 今後そういうスペースがあれば、要望を聞いて、できるよ

うに進めていきたい。

議員 今、佐賀県では「身近なユニバーサルデザイン(トイレ洋式化)推

進事業」としての補助事業がある。これは、公共施設や自治公民館、飲食店、物販施設などのトイレを洋式化するなどの補助事業だ。この事業をもっと活用、紹介して公共下水道への接続率アップにもつなげてはどうか。

町長 地域の方々と話し合いながら、随時進めていきたい。

電動アシスト付自転車の
増車による、観光客への
サービスの

議員

観光協会のホームページには、“レンタサイクル”と“電動アシスト付自転車”の紹介がある。

利用客数は年々増加しているとのことである。

有田町は、坂の多い町で有田駅から有田方面へ、また、卸団地へと、大変



▲観光協会の電動アシスト付自転車

キツイ思いで自転車を漕いでいる観光客を見かける。お客様へのサービスに、電動アシスト付自転車の増車としてはどうか。町長 お客様の利便性、また快適な移動手段には大変良い手段だと思つので、置き場所と、管理状況を踏まえて、増やしていきたい。

その他に

◇有田焼創業400年事業の進捗状況について

◇副町長の必要性について

質問しました。

400年事業と連携して 『まちのオフィス・春陽堂』開設



業務時間 月～金曜日 9時～16時

住 所 有田町大樽2丁目3番6号

電 話 0955-25-9230

まちづくり課から2人常駐

木曜日午後のみ ヘリテイジマネージャー 2人

平成27年9月から 地域おこし協力隊 1人配置予定



○空き家相談窓口

空き家の状況調査や相談窓口（改修策・活用策）、所有者と移住者とのマッチングなど、空き家を有効活用し、新しい可能性を建築士（ヘリテイジマネージャー）が提案します。

○余計なお世話隊窓口

空き家再生のために、掃除や片付けを行うボランティア「余計なお世話隊」。興味ある方はご相談ください。

○移住定住交流窓口

有田に住みたい・有田で働きたい・有田で起業したいなどのご相談に応じます。

○内山まちづくり活動拠点

まちづくりの活動拠点として、皆さんのまちづくりを応援します。また、オフィスの一部を開放しますので、会合などにも活用ください。

○メディアを活用した情報発信

うちやまのいちばん新しい情報を、日本のみならず世界に向けて発信していきます。

6月議会傍聴記

有老連女性部事業として、6月10、11日の2日間6月議会を傍聴していただきました。（西有田支部：21人、有田支部：16人）

傍聴の方々の感じられたことを紹介します（抜粋）。

- ・学校行政について、有田の未来を背負う子どもたちに関する質疑があったことに、深く関心をもって聞きました。町長・教育長の答弁も丁寧かつ慎重であったと感じました。

- ・議場が全体的に狭く、傍聴席も狭いと感じました。

- ・質疑・答弁の音量は良かったのですが、語尾まではっきりと聞こえるように言ってほしい。

- ・ふるさと納税のお返しで、有田焼や西有田牛を贈るなどして、もっと積極的に取り組みれば地域活性化に繋がるのでは。

- ・400年事業で、旧西有田の方は全然関心がないように感じられるので、小・中学校での「皿踊り」の普及をしては。

- ・400年事業のPR不足が指摘されていますが、将来の有田を見据えた、しっかりした理念のもとに進

めてもらいたい。

- ・検討だけではなく、必要と思えばすぐに実践してほしい。町民の声を聞き、わかりやすい情報を流していた、だく役割として、議員や行政の方も頑張ってもらう必要がある。

- ・今回の一般質問もなんとなく迫力がなく、突っ込みが足りないように感じた。

有老連女性部の皆様、議会傍聴ありがとうございました。

皆様の傍聴記を拝読させていただきました。町議会ももっと気合を入れて頑張らねばと改めて感じました。皆様のご指摘を改善して今後の議会運営に反映し、各議員の資質の向上と開かれた議会を目指してまいります。

今後とも
ご意見・ご
指導宜しく
お願いしま
す。



▲傍聴席から見た議場

町議会議長 松尾 文則



▲研修前に松尾議長から歓迎の挨拶



▲有田焼の原点「泉山磁石場」を視察

（行政視察受入報告）
七月六日

鳥取県大山町議会より
総務常任委員会6人

・有田焼創業400年事業

・公衆無線LANサービス

以上について研修されました。

議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。
ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。

☎46-2117

■ 議長交際費支出状況 （平成27年4月～6月）

項 目	件数	支出額(円)	備 考
会 費	1	10,000	行政懇談会
雑 費	3	12,773	商工青年部総会他2件
合 計	4	22,773	



議会だより担当になって「伝える広報誌から伝える広報誌」を目指し、毎月編集作業を行っている。伝えようと思えば字数が多くなり伝わり難くなる。議会、議員活動が伝わるものになっているか。自分の原稿を読み返しながら、質疑でも「伝わる」を考えながら、もっとそぎ落とした簡潔なものにしなければと反省しきりでもある。

来年、400年を迎える有田。私たちは10年後50年後に何を残したいのか。未来の子どもたちに、きちんと「伝わる」事業を目指して、議会でもしっかりと議論していきたい。

（英樹）

議会広報編集委員

委員長 松尾 佳昭
副委員長 原田 一宏
委員 立部 正則
委員 手塚 英樹
委員 福島 日人
委員 久保田 均